

完全自己プロデュースで楽曲を作る

東放学園音響専門学校 1年Jクラス 山崎 愁

目次

- 1、楽曲制作に至った理由
- 2、曲を作る上での個人的定義
- 3、詩の内容
- 4、作曲において工夫したこと
- 5、ジャケット写真のデザインについて
- 6、まとめ

1、楽曲制作に至った理由

生きていく上で何かと差別や偏見を受けることが多かった人生でした。
少し身振りが女っぽいだけで「おかま」、個人的な思いを言っただけなのに「〇〇歳のくせに」、酷い時にはシングルマザーだから「マザコン」。
これは全て小中学生の時に言われた言葉でした。
19歳になった今でも心にひっかかっています。それをもう10代最後だし浄化しようという思いで楽曲を制作しました。

2、曲を作る上での個人的定義

曲を作る上で個人的な定義があります。まずは必ず詩先でないといけないこと。これは音楽の中で詩が一番だと思うので、自分が作る上では絶対条件です。
次に、作曲する際は書いた詩の言葉に合うメロディでなければならないこと。
当たり前かもしれません、この2つは楽曲を作る上で外せないポイントです。
だからどんなに字余りでも無理やりメロディを変えているので、楽曲を聞いてる際におかしい点があるかもしれません、よろしくお願いします。

3、詩の内容

詩の内容は「差別や偏見のない世界を目指していく」といった内容です。
自分が幼い時に言われた言葉1つ1つを浄化していくように、浮かんできた歌詞を書きました。
具体的な内容に関してはパワーポイントの動画でも説明していますが、偏見や差別を堤防や波に表し、その堤防や波を「超えてゆく」という言葉を使って表現しています。
なぜ「超えてゆく」という言葉を使って表現したかというと、超えた後に平和がある様な気がして、差別や偏見を受けた日々を過ごしていたからです。実際に平和があったかといえば変わっていないのが現状ですが、少しずつ差別や偏見に対する世間の見方は変わってきていると思います。そういう背景を思い浮かべながら作詞しました。

令和3年2月1日

完全自己プロデュースで楽曲を作る

東放学園音響専門学校 1年Jクラス 山崎 憂

4、作曲において工夫したこと

作曲において工夫したことは全部で3つあります。1つ目として、「暗いメロディにならないこと」です。今回使う楽器がピアノのみのため、暗くなりがちになってしまうと思い、作詞をする際も前向きな言葉にして詩の持つ明るいメロディ引き出して作曲しました。

2つ目は「覚えてもらいやすいサビのメロディにする」ことです。そうすることで楽曲に親しみやすくなつてもらえるし、頭に残ることによって印象付けることができるので、このように心がけました。具体的には高い音から始まるインパクトの強い入り方、短く終わるサビのフレーズにしました。

3つ目は「統一性を出すこと」です。自分の癖で作曲途中に違うメロディに寄り道してしまうことがあるので、そうならないように心がけました。

5、ジャケット写真のデザインについて

今回作成したジャケット写真はこちらです。



一見何が何だかわからないような写真ですが、それぞれ説明しようと思います。

まず背景は深緑色の布を使用しました。最初は白黒背景にするつもりはなく、花に合わせて緑色にしたのですが、最後にフィルタの加工をしたら良い感じになったのでこの映え方にしました。

次に花で顔を隠しているところについて。これはパワーポイントでも説明していますが、誰かわからなくしたかったのがあってこのデザインにしました。そうすることによってお洒落感が生まれるし、音楽だけを聞いてもらえる可能性があります。

最後にジャケットと楽曲の共通点です。楽曲のテーマは「差別や偏見のない世界を目指していく（性別や年齢）」このテーマとジャケットデザインに何が共通しているかというと、一見しただけでは差別や偏見が生まれないというところです。顔や姿が隠されていることでどんな性別か、どんな年齢の人かわかりません。そうすることによって差別や偏見が生まれ

令和3年2月1日

完全自己プロデュースで楽曲を作る

東放学園音響専門学校 1年Jクラス 山崎 愁

ない世界観を演出できると思い、このジャケットデザインにしました。

5、まとめ

今回の楽曲制作において何を伝えたいかというと差別や偏見をあらゆるものに消化して乗り越えてゆこうということが1番伝えたかった内容です。この楽曲がそういったもので苦しんでいる人に届いたらいいなと思います。楽曲制作をやっていると客観的になれなくつてくるので、常に俯瞰して見る自分を作らなければならなくて大変でした。でも制作が終わった後の達成感を味わうとまた作りたいと思いましたし、趣味でこれからも楽曲を作りたいなと思いました。

ここまで読んでくださり、ありがとうございました。